



# 株式投資型クラウドファンディングの 活用事例

平成30年6月  
(株)フォルテ

1. 事業計画

2. 市場規模

3. クラウドファンディングのメリット

# 1. 事業計画 ①企業理念

## ミッション（存在意義）

地方都市から発したニーズに対して、最新技術を手頃な価格で実装し、人々の暮らしをより安心・安全・快適にすることで社会貢献します。

## ビジョン（ミッション達成の道筋）

- 不可能に挑戦する企業
- 決断が早い企業
- 細やかにフォローできる企業

## バリュー（行動理念）

- こまめな情報収集
- 誠意ある提案
- 迅速な対応



# 1. 事業計画 ②提供サービス

## 2018年の販売事業

音声ソリューション

### a.骨伝導ヘッドセット

自転車競技、騒音環境、補聴器代用向け。スマートフォンやトランシーバーに接続して使う。

【提案例】観光産業、製造業、銀行



### b.ナビ端末 (FB400シリーズ)

自転車観光、まち歩き、屋内外ガイド向け。現在は日本語、英語、中国語、韓国語に対応。

【提案例】観光産業、自治体



### c.mono端末 (FB100シリーズ)

移動体の管理向け。GPS情報と各種センサー測定結果をクラウド上で管理。

【提案例】製造業、運輸業、無人販売



### d.hito端末 (FB200シリーズ)

作業員管理や高齢者見守り向け。GPS情報と各種ステータスをクラウド上で管理。

【提案例】ポスティング、福祉関連



位置情報測位ソリューション

## 2018年の開発事業

【継続】  
H29~H30 1. バイタル測定ヘッドセット開発事業

【継続】  
H29~H30 2. ナビ端末後継モデル開発事業

【継続】  
H29~H30 3. みちびき端末開発事業

【新規】  
H30 4. 多言語同時通訳端末開発事業

【新規】  
H30 5. コネクテッドカーOTA開発事業

【新規】  
H30~H32 6. 青函地域活性化事業

【新規】  
H30~H32 7. 二次電池開発事業

# 1. 事業計画 ③経営目標

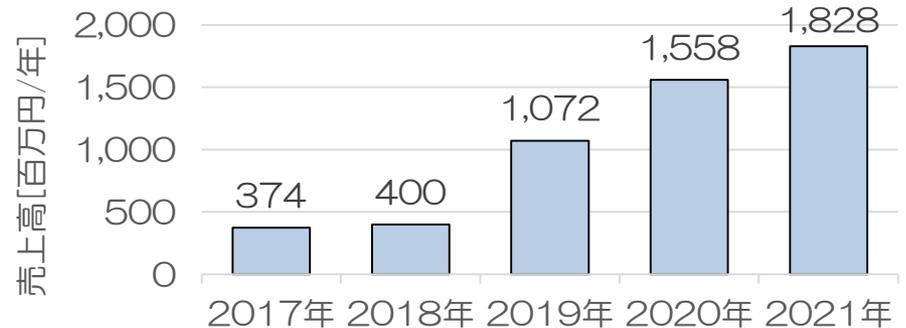
## 純資産

2017年実績は71百万円である。  
2021年までに611百万円（2017年の8.6倍）を目指す。



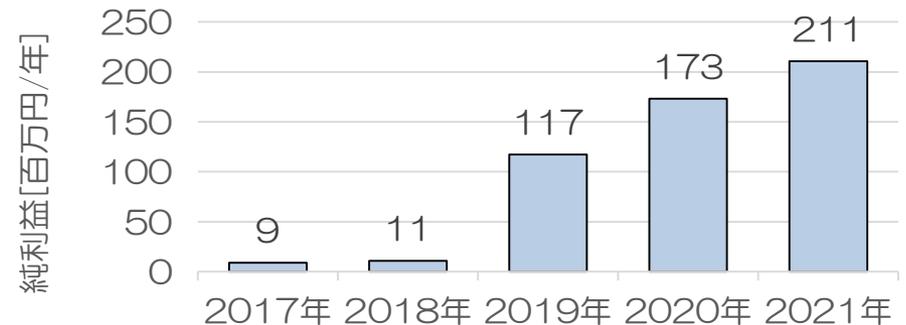
## 売上高

2017年実績は374百万円である。  
2020年までに1,828百万円（2017年の4.9倍）を目指す。



## 純利益

2017年実績は9百万円である。  
2020年までに211百万円（2017年の23倍）を目指す。



# 1. 事業計画 ③経営目標

## VOCE-NAVI アプリケーション・ 音声ナビゲーション 管理用ASP開発

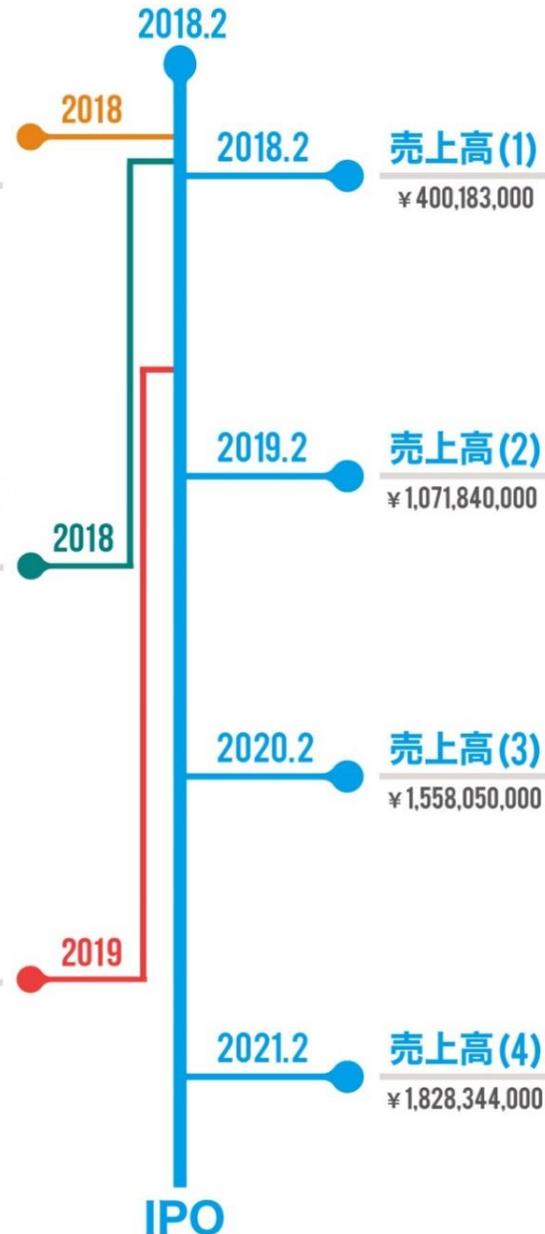
位置情報管理、危険運転管理、動画録画、音声ナビゲーションをワンパッケージで運用できるアプリケーションの開発を目指します。  
また、音声ナビゲーションの登録削除用ASPをWEBサイト上に公開し、アカウント毎にFree-for-all(自由参加型)のナビゲーション原稿管理サービスとしてローンチを目指します。

## 最新型VOCE-NAVI 完成～実証実験展開

位置情報管理、危険運転管理、動画録画、音声ナビゲーション(クーポン発行)を実験プランとして想定し、レンタカー、シェアカー、個人ユーザー様を含む500台での運用試験を6ヶ月間行い、ハード・アプリケーションの最終調整を行います。  
500台のテストは最低目標として無償ベースで実行できる体制を整備しますが、トライアル期間として特別価格での一般提供も実施予定です。

## VOCE-NAVI販売開始

BtoC用の販売チャネルとして、VOCE-NAVI専用のECサイトを公開します。また、BtoBtoC用のチャネルとして、社内の既存代理店へも商材提供し、北海道、東日本、西日本、シンガポール、中国・香港、マレーシア、タイ、オーストラリア・ニュージーランドの既存チャネルへの営業も展開していきます。

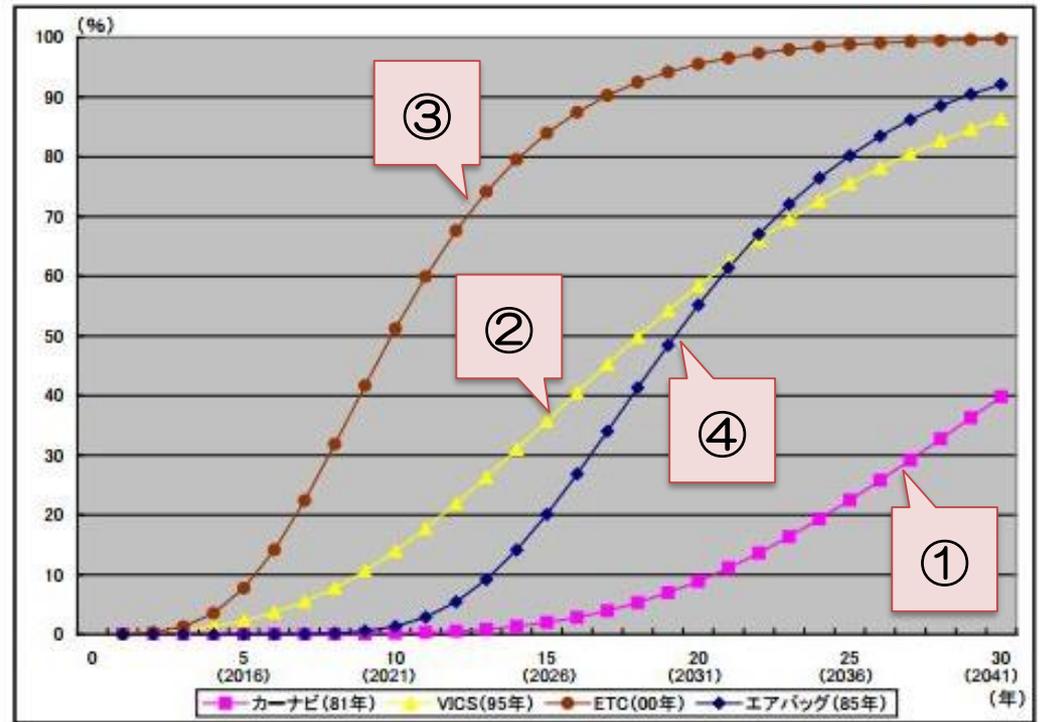


## 2. 市場規模

ITS (Intelligent Transport Systems : 高度道路交通システム) 市場は、現在以下のような既存製品の複合化・廉価化・IoT化により、これまでのBtoB市場への展開からBtoC市場へ拡販され、**約2兆円の新規市場開拓**が実現すると予測されています。

### ※ITS関連サービス

- ①カーナビゲーションシステム
- ②VICS  
(道路交通情報通信システム)
- ③ETC  
(自動料金収受システム)
- ④エアバッグ



注) 収束値は 100% で試算  
凡例のカッコ内表記はサービス・機器が実際に普及を開始した年  
X 軸のカッコ内表記は 2012 年を基点とした場合の西暦年

図 6.2-1 ITS 関連サービス・機器の普及率の成長曲線による近似

### 3. クラウドファンディングのメリット

#### ■銀行融資（間接金融）の課題

- ① 融資申請から入金までに時間がかかる。
- ② 短期・長期ともに返済義務が生じる。

#### ■クラウドファンディング（直接金融）のメリット

- ① 申請から入金までの時間が早い。
- ② 原則として返済義務が生じない（株価上昇や配当で還元する）。



今後は、間接金融から直接金融へ徐々に移行し、自己資本比率を高めたい。